

情熱と志、構想力、行動力を持つ リーダーを育てる、未来を拓く場

地域課題の解決に向け、産業振興をリードするリーダー人材（経営者）の育成・輩出を目的とした「市産業人材育成塾」（以下、「育成塾」）は昨年、第10期が終了し、事業としての役目を終了しました。今月号では、育成塾のこれまでの歩みと、卒塾生の現在の取り組みなどをご紹介します。

問産業部 商工課 ☎82-6677

育成塾とは？

東日本大震災からの復興に向け、地域産業・なりわいを再生・創出し、地域の未来を切り拓いていくためには、自ら地域を牽引するリーダーとなる人材（経営者）を育成していくことが極めて重要であるという認識のもと、平成28年度に地域の中核を担う産業人材育成プログラムである育成塾を開講しました。
これまで、令和7年度までの10期に渡って開講し、合計64名の卒塾生を輩出しました。

育成塾のプログラム

～『できる』『できない』じゃない。『やるか』『やらないか』～

塾生は、約6カ月間のプログラムの中で、塾生自らの「志」「ありたい姿」、それを実現するストーリーを述べる『スピーチ（宣言）』と、具体的な取り組みをまとめた地域の未来を拓く新たな『事業構想』を作成し、プログラムの最後に実施する卒塾式の場で地域住民・関係者に向けて発表します。この作成に向け、以下のメニューを実施しました。

地域を牽引するマインドを磨く
リーダーシップ養成セッション



経営等に関する知識を
身に付ける勉強会



経営コンサル、コーチングスキルを
有するメンターによるメンタリング



塾生には市役所職員が「伴走者」として付き、全プログラムを塾生と一緒に学び、塾生を支えます。これにより、塾生のサポートはもちろんのこと、伴走者を務める職員も経営に関する知識の習得や、職員の資質向上につなげてきました。

塾生は、約6カ月間、このプログラムを通じて「自分はどのように生きたいか？」を徹底的に見つめ直し、悩み、自問自答を繰り返しながら、自らの『スピーチ』・『事業構想』を作り上げました。

卒塾生 インタビュー

質問内容

- ①入塾のきっかけを教えてください。
- ②現在の事業内容と今後の展望を教えてください。
- ③育成塾で、どんなことを学びましたか？
- ④印象に残った言葉はありますか？

ハマダメディカルサポート株式会社
代表取締役 濱田 寿満さん（第2期／第7期）

- ①第1期卒塾生の兄に勧められて入塾しました。
- ②接骨院や訪問マッサージ、塾で事業構想を練っていただいた「子ども向けスポーツクラブ」を運営しています。全国展開を目指し、全国の子どもたちにこれまでの経験を届けていきます。
- ③仕事をする意味はもちろん、なぜその道に進んだのか、その仕事でなければならないのかをしっかりと考えました。「私たちに生きる意味がしっかりある」ということを学びました。
- ④「何のために？なぜ？」です。今でも、アイデアが出たら、「何のためにやるの？」「それで他人を幸せにできるの？」「なぜ？」と問いかけるようにしています。



にちにちしゃ
日日舎

西尾 直子さん（第7期）



- ①田村市に移住後、「自分の経験を活かせる仕事を作りたい」と考えていた時、知人から紹介されたのがきっかけです。
- ②喫茶・飲食事業を中心に、和菓子教室や絵本会、自分の時間をゆっくり過ごすための企画など、さまざまなワークショップも行っています。
- ③これまでの人生で初めての感情に出会うような、濃密な時間でした。これまでの経験を整理し、考えをまとめる作業は大変でしたが、目的が明確になるにつれて、未来を描く面白さを実感できました。卒塾した今、迷いのない「自分軸」ができたと感じています。
- ④「やるか、やらないか」です。たった一歩、されど一歩。まずは一歩を踏み出す大切さを、この言葉を通じて感じています。

たむら

市政だより

2026年10月号・目次

- 2 巻頭特集 市産業人材育成塾
- 4 特集 市防災備蓄品
- 5 たむらほっとニュース
- 7 福島県知事選挙
- 8 9年度幼稚園・保育所等の入園児・入所児を募集
- 9 9年度幼児預かり保育・放課後児童クラブの利用者募集
- 10 8年度全国学力・学習状況調査結果
- 11 道路沿いの樹木の管理のお願い
- 12 第13回市町村対抗 福島県ソフトボール大会
- 13 たむらの財政入門
- 22 各施設の催しなど
- 24 ほけんだより

市の募集・申請に関する
各記事の共通事項

問 問い合わせ 申 申し込み先
市への申込・書類提出について明記していないものは、期間中の土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

*表紙写真 稲刈り体験
場所：田村市常葉町西向地内

8年度からの新規事業のご案内

これまで市が実施してきた産業人材育成塾の卒塾生などの地域産業リーダーが中心となり、卒塾生同士や卒塾生と他の事業者等との連携、更には卒塾生に限らず、市内の起業家や事業者による事業の発展および新たな事業を創出し、他の事業者等を巻き込みながら地域産業の成長を図ることを目的として、2つの事業を展開しています。

01

起業家・経営者等ネットワーク構築事業
「TAMURA MIRAI LAB」

市内の起業家から次世代を担う学生までが集い、「稼ぐための知恵」と「売るための仕組み」を共に学び、対話し、新たな気づきと挑戦を生み出すネットワークを創るため全4回のワークショップを行っています。



02

事業構想チャレンジ
プログラム

市内での起業、新規事業の創出および事業拡大を目指す方を対象に、事業構想の具体化、事業計画のブラッシュアップ及び支援者・連携先との接点づくりを行い、地域課題の解決と経済的価値の創出を両立する事業の実現に向け、現在、3事業所への支援を行っています。